

○マスク着用について～公共の場での配慮を考える～

新型コロナウイルスが猛威を振るい、これまで発症数が少なかった岩手県も各地でクラスターが発生し、毎日のように発症者が出ています。いつまでこのような状況が続くのか先行きが見えない状況にあります。自粛が一番なのでしょうが、それでも、学校生活を通して学力向上、資格取得、そして部活動等で成長し続ける必要があります。

この状況で考えなければいけないのが“モラル”です。モラルとは『道徳』『倫理』であり、簡単に言えば、『個人の価値観はバラバラでも、実際には皆が似た考え方を持っていること』です。

実際、マスクを着用することがコロナ対策になるかどうかは立証されていませんが、飛沫を抑えることに効果があるのは誰もが分かることです。だからこそ、少しでも感染拡大防止につながる可能性があるのであればという思いは、ひとつの方法として皆で持ちたいものです。

コロナ禍において、公共の場でマスクを着用することはモラル化しています。「効果が無いから」「面倒くさいから」「話しぶらいから」等、いくら理由を挙げても、モラルに反してしまえば“モラルハラスメント”になる可能性があります。もう『自分さえ良ければいい』は通用しません。

学校は公共の場です。体育や部活動の運動時におけるマスク着用は、十分な呼吸ができなくなるリスクがあるという理由から、着用せずに行っています。それ以外の場では必ずマスクを着用し、お互いの気持ちを大事にして“新しい生活様式”に順応しましょう。

○“心の緩み”を改めよう!

先日、授業を終えて廊下を歩いているときに、数カ所でガムの吐き捨てを見つけました。急いでガム剥がし用のスクレーパーを持ってきて剥がしましたが、何とも残念な思いがしてなりません。

本校の生徒たちの勤労意欲は素晴らしいです。放課後の掃除をサボる人はいませんし、逆に、丁寧に掃除に励む姿は大変好感が持てます。我々にとっては自慢の生徒たちです。ところが、ガムの吐き捨てを発見したときは、ガッカリさせられました。誰が吐き捨てたのかを追求することはできませんが、学年を特定することは可能です。だからと言って、犯人捜しをすることはありません。

大事なものは、自分たちが生活する環境を自分たちでしっかり管理する意識を保つことです。買ったばかりのスマホ等は、誰でも大切に使うはずですが、ところが、少し使い古した物は乱雑に扱うものです。それでも、高価な物はそう簡単には買い換えることはできないので、意識して大事に扱う必要があります。

皆さんが使っている学校についてはどうでしょうか？入学する前から傷や傷んでいる箇所は仕方ないにしても、これ以上汚して良い訳がないのは分かるはずです。もし、ゴミを捨てる人を見掛けたら注意し、落ちているゴミは積極的に拾いましょう。また、放課後の掃除の仕方も改めてみませんか？雑に終わらせず、ガムの吐き捨てやジュースをコボした後等を確認してみましょう。

新型コロナウイルス感染症対策として、手の消毒等に注意を払う習慣が身に付いてきています。吐き捨てられたガムには、1グラム当たり100万個から1000万個の細菌が存在しているそうです。かなり不衛生であることは言うまでもありません。

元々、校内でガムを噛むことは禁止していますが、マスクをしている状態が多くて分かりづらくなっているのが現状ですが、やっちはいけないことはやめましょう。自分の心も持ち方次第です。気を引き締めて行動しましょう。

“視野の狭い人は、我が身を処する道を誤るだけでなく、人にも迷惑をかける。”

by 松下幸之助(パナソニック創業者)